

福島県三島町
広報

平成 26 年 3 月 7 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2014

March
弥生

3

No 252

雪国の暮らしから 生まれたデザイン

3月15日(土)・16日(日) 9:00~17:00

第33回三島町生活工芸品展 生活工芸館

第13回全国編み組工芸品展 交流センター山びこ

入賞者表彰式 (経済産業大臣表彰ほか)

展示販売、実演、体験コーナー

⑧当日は大変込み合うことが予想されます。また雪が降ることもある時期ですので、お車の運転などには十分注意してお越しく下さい。

問生活工芸館 ☎ 0241 (48) 5502

福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上 395

<http://www.okuaizu-amikumi.jp>

2 雪と火のまつり

4 看護師さんから
いい話聞きました。
県立宮下病院の出前講座

6 TownNews6 みしまの出来事
若者が間方に集まり雪かたし／流
しびな作りを体験／がんは早期
発見で治せる／200年前の三島
の歴史をひも解く／若松三島会
の方々にふるさと報告／心臓マッ
サージやAEDを実習

8 町民記者通信

団子まきの托鉢／糞りと火伏せの
祈願「初午祭」／お釈迦様の団
子拾い／子どものサイノカミ／大
字通常総会を開催／良い年願
い「百万遍」／大学生が雪かたし
ボランティア

10 空き家・住宅改修費等助成金
起業支援・雇用創出事業助成金

11 保健・子育て・健康づくり予定／
地域ふれあいサロン予定ほか／県
立宮下病院から

12 民話 第36話 利口な嫁

広報紙面クイズ

13 银山街道を活用して
地域を元気にする会

こんにちは。協力隊です。Vol.5

14 多重債務・貸金業に関する相談窓
口／金融犯罪等被害防止のための
出前講座／会津坂下警察署から／
ご寄附／町の人口と世帯

15 桐寿苑、福寿草、ひだまり
災害時の福祉避難所に指定
春季全国火災予防運動／国税専門
官採用試験／国家公務員採用試験

16 デジアナ変換サービス
あと1年で終了します。

編集後記



1



2



3



4

1_ 御神木となる杉を切るなど、サイノカミ作りを体験した三島小の児童たち 2_ 会場を彩った「団子さし」 3_ 桐下駄飛ばし大会や、雪上フラッグなど、楽しいイベントを繰り広げた 4_ 雪国の装いでライブを行った民謡アイドルの永峯恵さん。雪上イベントにも参加して盛り上げた 5_ 「奥会津三島横丁」の前で行われた雪上綱引き大会。滑りながら必死に引っ張り、寒さも吹き飛ばした 6_ 赤々と燃えたサイノカミと、願いを込めて打ち上げられた花火



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,864人 (2月1日現在)



雪国は楽しそうぞ (^o^)

雪と火のまつり

第42回雪と火のまつりは2月8日、町民運動場で開催されました。国の重要無形民俗文化財「三島のサイノカミ」の再現をメインに、多彩なイベントを繰り広げました。

会場では朝から、松原地区と川井地区の方々がサイノカミ作りを行い、高さ20メートル以上の御神木を立てました。三島小・三島中の児童生徒もサイノカミ作りを体験しました。

当町と「山海交流」を行っている、いわき市四倉からは約80人が訪れ、サイノカミ作りを体験したほか、普

段は機会のない雪の中でのイベントを満喫しました。

立てられた5本のサイノカミに御神火が点火され、燃え上がる炎が会場を包みました。合格祈願や、家族の幸せを願った花火も打ち上げられました。また会津若松市出身の民謡アイドル、永峯恵さんがライブステージを行い、イベントを盛り上げました。最後に恒例のくじ付きみかんまきが行われ、福を引き当てた方々には各種賞品が贈られました。

会場には「奥会津三島横丁」と称して出店が並びました。毎年の顔ぶれのほか、新しく塩ラーメンに挑戦した商工会青年部や、豪雨災害復旧工事のパネル展示などを行った宮下地区建設業協同組合の「どぼくカフェ」なども加わり、横丁を盛り上げました。また、いわき市四倉の方々は、アンコウ、カワハギの鍋料理など海の味を提供しました。

町内の60業者、町外の87業者、計147業者が協賛し、歴史あるまつりを支えました。



5



6

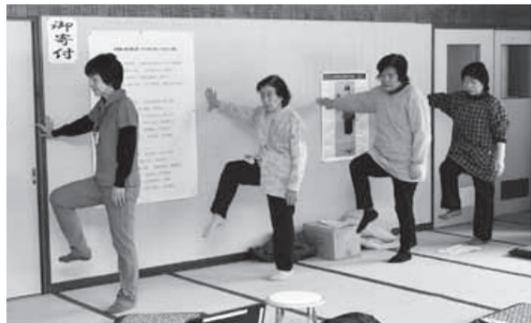


西方地区健康を守る会は2月24日、出前講座「感染予防のための正しい手洗い・うがい」を実施しました。兼子香代子看護師は「水で流すだけではウイルスは落ちないので、指の間や爪をしっかりと洗ってください」と手洗いの大切さを強調しました。

ゲームなども交えながら和やかに講座を行った兼子香代子看護師



生活習慣病について分かりやすく話した伊藤郁子看護師



松原地区は2月25日、出前講座「生活習慣病って？ ちょっぴり運動を続けよう」を実施しました。日常の食事と運動について、伊藤郁子看護師の話聞いた後、古川昌子看護師長（左端）に習って軽い運動を実践しました。



健康長寿の神頼み？ いいえ、肩のストレッチです。

いい話聞きました。 看護師さんから

県立宮下病院の出前講座

身近で信頼される病院運営を目指す県立宮下病院。出前講座では、知っているようで知らなかった病気のことや、すぐにできる予防法など、健康づくりに役立つ知識について、看護師や栄養士が分かりやすくお話しします。

住民が集まる場に合わせ
希望するメニューで実施

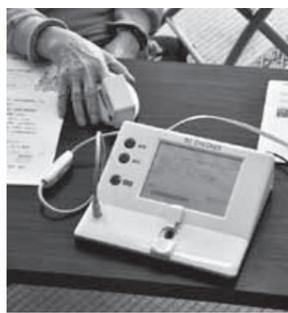
自分の健康状態を知り
改善するきっかけに

県立宮下病院の「心ある医療出前講座」。看護師や栄養士が地域に向向いて行っています。生活習慣病を予防する食事や運動、腰痛の原因、感染症の予防、薬の知識など、さまざまなメニューを用意しています。病院への申し込みにより、各地区の健康を守る会や、町社会福祉協議会のサロンなど、町民の方々が集まる場で行われています。

例えば「生活習慣病って？ ちょっぴり運動を続けよう」という講座では、暴飲暴食や喫煙など毎日の良くない生活習慣によって引き起こされる病気を再認識し、その場でできる軽い運動を看護師に習って実践します。また血管年齢を測定して自分の健康状態をチェック。実年齢との差が分かり、維持・改善を目指すきっかけとなります。

血管年齢を測定

出前講座では、指で簡単に血管年齢を測定する機器を利用することもできます。実年齢より下であればひと安心。上であれば要注意。生活習慣の改善が必要です。



また「感染予防のための正しい手洗い・うがい」では、毎年秋から冬にかけて感染が広がるインフルエンザやノロウイルス、風邪を予防するポイントを学びます。正しい手洗い・うがい、正しいマスクの着用、他人にうつさないための咳エチケット、湿度は50%から60%にし、小まめに換気をするなど、感染予防の基本をあらためて再確認できます。

県立宮下病院「心ある医療出前講座」

講座メニュー	所要時間	担当
①脳卒中を知ろう。防ごう。(予防から最新医療まで)	40分	医師
②高齢者の転倒予防、寝たきり予防	40分	看護師
③腰痛、膝痛の原因(若返りのための体操)	30分	看護師
④高血圧予防教室(簡単な高血圧予防のお話)	30分	看護師
⑤いつまでも元気に(新老人の会3つのスローガン)	40分	看護師
⑥いつまでも元気に(健康は食べることから)	40分	看護師
⑦生活習慣病って？(ちょっぴり運動を続けよう)	40分	看護師
⑧生活習慣病(肥満について)	40分	看護師
⑨生活習慣病(糖尿病を知ろう。防ごう)	40分	看護師
⑩生活習慣病(脂質異常症ってなに)	40分	看護師
⑪感染予防のための正しい手洗い・うがい	40分	看護師
⑫笑いと健康(なぜ笑うと良いか)	40分	看護師
⑬お薬の正しい知識(お薬との上手なつきあい方)	40分	薬剤師
⑭元気をつくる食習慣	20分	栄養士
⑮山登り・山歩きの食事(バテない食事とは)	40分	栄養士
⑯便秘予防と食事(おいしく食べてスッキリ快便)	30分	栄養士

◆利用方法=希望する講座メニューを選び、県立宮下病院にお申し込みください。③原則として、平日の午前9時から午後4時までの時間帯で実施し、日程は個別に調整します。●県立宮下病院事務部 ☎(52) 2321

がんは早期発見で治せる。
黒沢正喜院長が講演

県立宮下病院の黒沢正喜院長の講演会「がん検診の勧め」は2月18日、町民センターで開かれ、町民の方々約50人が参加しました。三島町県立宮下病院等後援会の主催。黒沢院長は、同病院で実際にがんと診断された患者の例を示しながら、「レントゲンや内視鏡、CTで早期発見できれば、がんは治せます。自覚症状がないうちに検査で見つければ、不治の病ではありません」と、定期的な検査の受診を促しました。



がん検診について講演した黒沢正喜院長



海老名俊雄さんに習い、古文書を読んだ講座

200年前の三島の歴史をひも解く
山びこで古文書を読む講座

交流センター山びこで2月22日、「講座・三島を学ぶ」が行われました。会津史学会顧問の海老名俊雄さん（松原）が講師を務め、「古文書に親しむ」と題して、文化3年（1806年）に書かれた「大谷組地志書上帳」を読み解きました。町内外から15人が参加し、古文書の読み方や、江戸時代の大谷村、浅岐村、間方村などの地誌を学びました。参加者からは、「古文書の続きを読む機会を設けてほしい」との声が聞かれました。



ふるさとに思いを寄せた若松三島会総会・新年会

若松三島会の方々にふるさと報告
菅家壽一さん、佐藤美智子さん

若松三島会総会・新年会は2月23日、ルネッサンス中ノ島（会津若松市）で開かれ、約40人が出席しました。二瓶町長が町の現状を報告したほか、間方区長の菅家壽一さんが田舎体験ツアーなどの交流事業について発表しました。続いて佐藤美智子さん（宮下）が当町の風景をさまざまな角度から撮影した写真を見せました。また懇親会では、三島太神楽保存会が「鍾馗様」と「長獅子」を披露しました。



救命処置を学んだ赤十字奉仕団の皆さん

心臓マッサージやAEDを実習
三島町赤十字奉仕団の救急講習会

三島町赤十字奉仕団の救急講習会は2月26日、町民センターで実施されました。団員15人が参加し、会津坂下消防署三島出張所署員が指導に当たりました。講習ではダミー人形を使い、反応の確認、心臓マッサージ、気道確保と人工呼吸、AED（自動体外式除細動器）の操作を実習しました。心臓マッサージの実習では、少なくとも毎分100回の速さで、肘を伸ばし体重をかけて、胸骨を圧迫する訓練を行いました。

若者が間方に集まり雪かたし
地元の方々と交流深める



雪に埋もれた民家の雪かたしを行ったボランティアの方々。全国から集まった学生などの若者たちや、企業に勤める皆さんは、過疎化に悩む地方を少しでも助けたいという思いで参加し、同時に山村の暮らしを体験し、人々とのつながりを深めた

間方地区で2月15日・16日、雪かたしのボランティア作業が行われました。県会津地方振興局が募集する「田舎の暮らしを守り隊」として参加した富士ソフト(株)の方々や、昭和村のNPO 苧麻倶楽部が行うワークキャンプに参加した学生など、合わせて約30人が、一人暮らしの高齢者のお宅の雪かたしをしました。関東・甲信地方の記録的な大雪で混乱する中、東京や福岡から駆け付けた方もいました。また国内だけでなく、スイスや中国、韓国の方も参加しました。ボランティアの経験者が多く、慣れた手つきで効率よく作業し、屋根まで届くほど積もった雪をきれいに除雪しました。夜は間方集会所で交流会を開き、田舎料理を味わいながら親睦を深め、集会所と民家に分かれて一泊しました。



作業終了後、ボランティア活動を通してそれぞれが感じたことを述べ合った



間方地区のご婦人の方々が、田舎料理のあたたかいおもてなしを用意した

参加者からは、「本物の雪国を体感できた。また来たい」「豪雪の中で生きる姿がかっこよかった」「地元のおもてなしが最高だった」などの声が聞かれました。間方地区の皆さんも、若者たちと楽しく交流できたことを喜んでいました。菅家壽一区長は「大雪の中、山奥まで来ていただき本当に感謝しています。何らかの形で恩返しをしたいです」と話しました。

流しびな作りを体験
「桐の子隊」

児童が放課後に各種体験を行う「桐の子隊」は2月13日、三島小1年生・2年生が参加し、町民センターゆめぼけっとで行われました。この日は高清水地区で受け継がれる伝統行事「ひな流し」の流しびな作りを体験しました。同地区の矢澤直子さんに習い、千代紙でおひなさまを作りました。「ひな流し」は毎年3月4日に行われ、ほかでは見られなくなった希少な行事であり、町外からも見学者が訪れています。



かわいい流しびなを作った児童たち



子どものサイノカミ 桧原地区

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん（桧原）



桧原地区の「子どものサイノカミ」は2月15日に行われました。各地でサイノカミのような火祭りは行われているようですが、当地区のような「子どものサイノカミ」は全国でも珍しいようです。1月15日のサイノカミから1カ月後に行き、御神木は1月15日の半分の6メートルほどです。近年は子どもが少なくなり、地区役員の協力で実施されています。夜7時に、鈴木隆区長と子ども代表の片山寧々さん（中1）が点火し、みかんまきも行われ、餅やスルメを焼いて食べながら、一年の無病息災を願いました。

大字通常総会を開催 桧原地区

文・写真 町民記者 佐々木邦雄さん（桧原）

桧原地区の平成25年度大字通常総会は2月23日、桧原多目的集会所で開かれました。一年間の事業報告、収支決算見込みが報告されたほか、平成26年度の事業計画、収支予算などが承認されました。続いて新役員を選出し、少子高齢化の中での地区運営が任せられました。引き続き慰労会を行って地区の方々とのコミュニケーションを深め、楽しいひと時を過ごしました。



良い年願い「百万遍」 高清水地区

文・写真 町民記者 菅家敏一さん（高清水）



高清水地区で受け継がれる行事「百万遍」は2月7日、雪が降る中で行われました。鎮魂、追善、豊穰、除災などを祈って行われる年中行事です。同地区でただ一人の小学生、矢澤雅生くん（小4）と、区長の父・倉一さん、母・昌江さんが、大きな数珠を持って各家庭を回りました。玄関先で家族の方々と一緒に「ナンマイダ、ナンマイダ」と唱えながら、数珠を左回りで3回まわし、良い年を願いました。

大学生が雪かたしボランティア 西方地区

文・写真 町民記者 坂内洋二さん（西方）

いわき明星大の教官と学生12人が2月9日から11日、西方ふるさとセンターで自炊・宿泊しながら、奥会津の雪かたしボランティアに取り組みました。折しも太平洋岸の大雪による交通混乱のさなかで到着が遅れ、初日の雪かたしは中止しましたが、二日目は金山町で終日作業しました。夜には西方地区で交流会を開き、除雪の大変さや雪国ならではの楽しみなどを語り合いました。三日目は同地区の高齢者宅などを除雪し、汗を流して働く爽快感や、人とのふれあいの大切さを感じながら帰途につきました。



団子まきの托鉢 西方地区

文・写真 町民記者 坂内洋二さん（西方）



西方・西隆寺の団子まきの浄財を集める托鉢が2月11日に行われました。同地区は、子どもたちが浄財を頂く手伝いをする托鉢を昨年復活させました。2年目の今年も小学生3人が布袋を持ち、遠藤弘佳和尚と一緒に歩き、道沿いに並んだ地区の方々から浄財の米やお金を頂きました。一日で地区全域を回り、無事役割を終えた子どもたちの顔には充実感がありました。今後、3月19日に団子丸め、21日の彼岸の中日に涅槃会の団子まきが西隆寺で行われます。

稔りと火伏せの祈願「初午祭」 西方地区

文・写真 町民記者 坂内洋二さん（西方）

西方・稲荷神社で恒例の「初午祭」が2月4日、厳かに執り行われました。初午の日は、京都・伏見稲荷大社に御祭神（倉稲魂尊）が鎮座された日とされ、全国の稲荷神社で奉祝されており、西方稲荷神社でも神社総代や氏子が参列して「大祓い」を唱えた後、青木基重宮司により「祈年祭」（五穀豊穰・商売繁盛・諸願成就）と「鎮火祭」（火防祈願）の祝詞奏上の後、神前で「御鈴振り」（鈴の音により神威を参拝者に分かち与える儀式）も奉納され、豊饒と安寧を祈る祭典を終了しました。



お釈迦様の団子拾い 川井・松音寺の涅槃会

文・写真 町民記者 角田伊一さん（川井）



2月15日はお釈迦様のお亡くなりになった日で、各地の寺院で涅槃会という宗教行事が行われます。川井の松音寺でも16日に盛大に行われました。前日に檀家の川井、大登の主婦たちが白、赤、青の団子を丁寧に丸め、1,400袋の三色入り団子を準備しました。当日は老若男女多数が、お釈迦様の団子拾いに集まりました。寺の本堂で寺宝の涅槃図に参詣し、お住職様の読経と法話に耳を傾けたあと、護持会役員のまく三色団子を持ちきれないほど拾い集め、ご満悦の様子でした。団子は茹でなおし家族そろって食べるとご利益があり、また一個ずつ巾着に入れ肌身離さず持参すると災難除けになるともいわれています。

栄養士のつぶやき

小野 知恵 管理栄養士



「時間栄養学」という言葉をご存知でしょうか。生体リズム（体内時計）の視点から考えられた栄養学で、「いつ食べるか」で生活習慣病の予防やダイエットにもなるといわれています。例えば、「時間」「順番」「速度」などを考えて食べると、栄養の吸収や働きがコントロールされることにより体調が整い、病気や肥満防止につながります。この「時間栄養学」に基づいた食事のポイントを紹介します。

- ①朝食・昼食・夕食のエネルギー割合は3:3:4
- ②朝食は起きて（朝日を浴びる!）から2時間以内に摂り、炭水化物（ごはんなど）と、たんぱく質（卵、納豆、魚など）を必ず食べる。野菜や果物もあればベスト。
- ③夕食が夜9時以降になる場合は、軽めにする。
- ④30回位よく噛み、食物繊維の多い食品（きのこ、海藻類など）から先に食べる。

ダイエットでの食事の基本は、「栄養のバランス良く、腹八分目に食べること」ですが、食べるタイミングも大事です。今まで減量がうまくいかなかった方は試してみたいかがでしょうか。



保健・子育て・健康づくり

町民課 ☎ (48) 5565



実施予定

- **4カ月児健診**
3月11日④ 11:15～ 坂下厚生総合病院
- **足腰げんき教室**
▶室内運動編
3月12日⑥ 13:30～ 町民センター
▶水中運動編
3月19日⑥ 13:00 町民センター集合
(河東学園プールへ送迎)
- **機能訓練会**
3月26日⑥ 14:00～ 福寿草
- **心の健康相談**（※事前申し込み必要）
3月24日⑤ 13:30～ 福寿草
【申込先】町民課 ☎ (48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成25年度健康づくり年間予定表（ピンク色の一枚刷り）から転記しています。

地域ふれあいサロン

浅岐あったかサロン

3月11日④ 10:00～ 浅岐集会所

大石田友遊サロン

3月28日⑤ 10:00～ 大石田生活改善センター

心配ごと相談

3月13日⑥ 9:30～ 福寿草

- ボランティア団体連絡会
3月18日④ 13:30～ 福寿草
- 町社会福祉協議会理事会
3月19日④ 13:30～ 福寿草
- 町社会福祉協議会評議員会
3月20日⑥ 13:30～ 福寿草

町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

三島町空き家・住宅改修費等助成金
平成26年度申請を4月から受け付けます。

三島町起業支援・雇用創出事業助成金
申請は毎年度、通年で受け付けています。

◆助成の対象
助成の対象は次のいずれかに該当するものとします。
① 定住・二地域居住または地域活動等の促進などが見込まれる空き家の改修
② 利活用の見込みのない空き家や、倒壊等の恐れのある空き家の解体
③ 新たに世帯員の増を伴って5年以上定住するための住宅の改修
※空き家とは、日常的に居住していない家屋であり、所有者等が日常的には居住せず定期的に利用している場合も含みます。（蔵、小屋などは含みません）
※改修とは、住宅機能の向上のための改築、増築、修繕、設備の改善等とします。ただし通常の家屋の維持管理に係る修繕等は含みません。
【その他の条件】
① 原則として町内業者により改修または解体を行うこと。
② 町税、使用料等の滞納がないこと。



③ 空き家であった家屋に現に居住している場合は、その居住期間が1年以内であり、今後も定住が見込まれること。
◆助成対象経費
空き家・住宅の改修または空き家の解体に係る次の経費
① 工事請負費
② 調査設計費
③ その他、町長が必要と認める経費
◆助成の額
助成対象経費の3分の2以内の額 ※ただし100万円を上限とします。
◆申請先
役場 地域政策課
☎ (48) 5533
※まずはご相談ください。

① 起業支援事業
◆助成の対象
町内に事業所を有する、または新たに事業所を設置する法人または個人事業主が新たに起業する事業
※起業して1年以内の事業を含む。
※既存の事業所が新たな分野で起業する事業を含む。
◆助成対象経費および期間等
地域資源等を活用し新たに起業する事業に要する次の経費
① 商品等の試作開発費（原材料費、委託料、専門家等招聘謝金・旅費、印刷製本費、リース料、消耗品費等）※販売品に係る原材料費等の仕入れ経費を除く。
② 事業所等の家賃、借地料
③ 機器等のリース料
④ その他必要と認める経費
※施設整備費・施設改修費・備品購入費等の設備資金および既存事業に係る経費を除く。
【助成期間】 1年以内

◆助成の額
助成対象経費の3分の2以内（千円未満切り捨て）
※ただし100万円を上限とします。
② 雇用創出事業
◆助成の対象
町内に事業所を有する、または新たに事業所を設置する法人または個人事業主が新たに雇用する事業
◆助成対象経費および期間等
新たに雇用する従業員の賃金・社会保険料
【雇用条件】
① 正社員 1年以上の雇用契約
② パート 6カ月以上の雇用契約
【助成する雇用人数】
① 正社員 2人以内
② パート 3人以内
※正社員とパートの合計は3人以内とします。
【助成する雇用期間】
① 正社員 1年以内
② パート 6カ月以内

◆助成の額
① 正社員 一人当たり 月額10万円以内
② パート 一人当たり 月額5万円以内
◆その他
起業支援事業と雇用創出事業の両方に申請することも可能です。
⑥ 国・県等の助成等を受けている場合は対象外とします。
◆申請
毎年度 通年受付
※申請年度内に助成期間が上限に満たない場合は、翌年度に残りの月数を助成期間として申請することができます。
◆申請先
役場 地域政策課
☎ (48) 5533
※まずはご相談ください。
※空き家・住宅改修費等助成金、起業支援・雇用創出事業助成金は、三島町まちづくり基金を財源とする予算の範囲内で交付するものです。

民話



第36話 利口な嫁

元話 故五十嵐ミヨノさん（西方）
再話 五十嵐 七重さん（西方）

むがあしむがしなあ。あるところに、とても頑固で昔人なもんで、口やがましくて、手にかねえおぼんちやいたど。ほんに内外、誰さでもやがましくて、わがの言いであごどは、ひとつも我慢どつてねえ、嫁さんぞは側で聞いてらんにえほどだつけど。んだから村のたちは、

「あの鬼ん婆、ほんに良ぐねえぞ」嫁ばつつか、むぞうせえわあ」「誰か教えでやんねえど、嫁の立つ瀬ねえわ」「いやいや、意地張つていまと悪ぐなべなあ」

「そうだ陰口が、おぼんちやの耳さ入つたど。いやはや悔しくなつたおぼんちや、

「こーら、にしは村のたちえが俺のごどなんだかん言つてんの分がつてんべえ。気持ちよがんべえわ」……」「なんとかしやべつてんろお。にしの腹ん中裂いて見てみでえなあ」「……」なじようなごど言つても、口答えひとつしねえがら、ますますごせやげただべえ。

「こーら、村のたちえ、俺のごど鬼

ん婆なんて言つてるそうだから、俺の歌さ上の句つけて詠んでみろい」
「そう言うど、裏の蔵の屋根のほうさ顔向げで、

おにんばなどと 人は言うらん

「ほーら、上の句つけてやってみろい」

したらば、若い嫁さん、なかなか愛嬌がいいだなあ。にこにこしながら、おぼんちやのほう向いで、

仏にも まさる心を知らずして
鬼ん婆などと 人は言うらん

「そう言つたど。おぼんちや、嫁の顔見で、はあーど一息ついで、にやつと笑うど、それからはほんにいいおぼんちやになつて、仏様のようにだ、本当の仏様だつていわれるようになっただど。その歌一つで、なおつちまつたちゅうだなあ。

ざつとむかし、とんてんかんでん、とんからりん。

Quiz

広報紙面クイズ

紙面を読み返して、○に当てはまる答えを探してください。

【問題】

- ①2月に開催された雪と火のまつりは、第○回目の開催。
- ②県立宮下病院が実施しているのは、○○講座。
- ③団子まきが行われるお寺の行事は「○○○」。(漢字3文字)
- ④心肺蘇生のために電気ショックを与える機械は、○○○(自動体外式除細動器)。
- ⑤町の空き家・住宅改修費等助成金の上限額は、○○○万円。

5問正解者の中から、抽選で5名の方に、三島町公式ポスターを差し上げます。お部屋に張って、訪れた親戚の方やお客さんに、当町のいいところを教えてください。

◆応募方法

ハガキかメール (Seisaku@town.nishina.fukushima.jp) で、クイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「広報みしま」についてひと書いて、三島町役場地域政策課(〒969-7511大沼郡三島町大字宮下字宮下350)まで応募してください。

◆締切

3月20日(必着) (発表は来月号で)



三島町公式ポスター

銀山街道を活用して地域を元気にする会 3月20日に設立総会

銀山街道は、会津若松市大町札の辻から只見町小林まで、銀山峠、美女峠、吉尾峠を越えていく旧街道で、延長は72kmに及びます。銀や芋麻(カラムシ)、塩の交易などで多くの人々が往来しました。近年、各峠において草刈などの道普請やウォーキングイベントが開催され、歴史街道として見直されています。一方、沿線集落は少子高齢化が非常に進み、コミュニティの維持が困難な状況に直面しています。このたび銀山街道を歩く県道として活用するために、「銀山街道を活用して地域を元気にする会」を発足することになりました。多くの皆さまの参加をお願いします。

◆発起人 角田伊一(街道交通史家、三島町)、佐藤長八(銀山峠を復活させる会、柳津町)、渡部稔雄、石田俊正(峠道の利活用を考える会、昭和村)、滝沢博士(郷土史研究、会津若松市)、櫻田修一(地域ブ

ランドクリエーター、会津美里町)、塩田恵介(奥会津温泉郷協議会、柳津町)、坂内謙(奥会津温泉郷協議会、金山町)、田賀陽介(東北芸術工科大学)、刈屋晃吉(あなたの永遠の故郷づくりを推進する住民会議、只見町)、五十嵐政人(NPOわくわく奥会津.COM、三島町)

◆設立総会

▽日時 3月20日(土)午後1時から▽場所 三島町町民センター

◆会の愛称募集

銀山街道によって地域が活性化するイメージのロゴマークに用いる愛称を募集します▽締切 3月16日(土)▽申込方法 16日(土)まで電子メール▽賞品 奥会津の特産品

◆申込・問合せ

NPO わくわく奥会津.COM ▽〒969-7517 福島県大沼郡三島町大字大谷



三島町間方と昭和村野尻を結ぶ旧街道は、高姫の伝説にちなんで「美女峠」と呼ばれ、毎年秋にウォーキング大会が開催されている

こんにちは。協力隊です。

三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎

Vol.5 雪かたしボランティア

3月に入り、たくさんあった雪も少しずつ解け始め、三島の厳しい冬もやっと終わろうとしています。町の人に必ず言われるのが「今年は雪が少なかつた」という話ですが、私にとっては異常といえるほど多く、これ以上積もっている風景というのは想像できません。

2月15日・16日、間方地区で雪かたしボランティアが行われました。私と同じ埼玉や東京、さらには外国の方もいました。そこで雪の降らない地域から来た人たちが、雪を見て驚いたり、はしゃいでいるのを見て、私は雪に慣れたんだなと実感しました。

私と年齢の近い学生も多く参加していました。参加した理由を聞くと、「雪かきを体験したかった」「地元の方と交流したかった」

などさまざまでしたが、作業を終えた後には、ほとんどの方から「地域の方の役に立ててよかった」「都会にはない達成感を得られた」という感想が聞かれました。これは私自身もすごく共感できる部分で、学生の頃には地域の中で誰かの役に立てていけると感じることはなく、三島町に来た理由の一つにはそういった部分を求めていたこともありました。

都会の若い人は、地域への貢献や人とのつながりに飢えていることが多いような気がします。そこをターゲットとして人を呼び込んでいくこと、そして今回のように集会所での交流会や民泊など、飾らないありのままの姿で交流すること、本当の地域の魅力を伝えることができるのではないかと感じました。



福祉避難所協定書に調印した二瓶町長と社会福祉法人みしまの齋藤賢夫理事長

災害時における福祉避難所協定書調印式は2月28日、役場で行われ、社会福祉法人みしまの齋藤賢夫理事長と、二瓶町長が調印しました。福祉避難所は、災害発生時に設置される一般の避難所では生活することが困難な「要配慮者」を受け入れる避難所で、桐寿苑、福寿草、ひだまりを指定しました。平常時から物資の確保、訓練や研修を実施し、災害発生時には町の要請に応じて要配慮者を受け入れられます。会津地方では、会津美里町に続き2例目の指定です。

桐寿苑、福寿草、ひだまり 災害時の福祉避難所に指定

消すまでは 心の警報 オンのまま 春季全国火災予防運動 3月1日(土)～7日(金)

空気が乾燥して火災が発生しやすい季節になりました。火災予防運動は、住民の皆さまに防火に対する意識を一層高めていただき、火災の発生を防止することにより、尊い生命を守り、貴重な財産の損失を防ぐことを目的としています。



火事と救急・救助は 119番

会津坂下消防署 三島出張所
☎ (52) 3032

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯 (1月)

0件

子どもに教えましょう 「いかのおすし」

今年に入り、他県において、小学生の女の子が連れ去られ監禁される事件が相次いで発生しています。他人事と思わず、次の合言葉を親子で復唱するなど、身を守る教育をお願いします。

★「いか」…いかない。

知らない人について行かない。
危ないところに行かない。

★「の」…のらない。

知らない人の車に乗らない。

★「お」…おおきな声で叫ぶ。

危なかったら大きな声で叫ぶ。

★「す」…すぐに逃げる。

とにかく人のいるところへすぐに逃げる。

★「し」…しらせる。

近くの大人や警察(110番)の人、学校などに知らせる。

街頭犯罪発生件数(1月)

区分	管内	三島町
強盗		
空き巣ねらい		
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい		
車上ねらい		
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	0	0
全刑法犯	7	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

多重債務・貸金業に関する相談窓口

福島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じて弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。相談は無料ですのでお気軽にご相談ください。

また国や県の登録を受けずに貸金業を営む、いわゆる「ヤミ金融」には十分ご注意ください。利用している貸金業者の登録状況に関する問い合わせや、不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

金融犯罪等被害防止のための出前講座

福島財務事務所では、地域のコミュニティ活動や、各種団体の会合などにお伺いし、「なりすまし詐欺」などの金融犯罪被害に巻き込まれないよう、日ごろから注意していただきたい内容などを分かりやすくご説明いたします。講座は無料ですので、お気軽にお申し込みください。

◆相談窓口=福島財務事務所理財課(福島市松木町13-2)

◆受付時間=平日(祝日、年末年始を除く)の午前8時30分～午後5時15分

◆電話番号

多重債務相談窓口直通

☎ 024 (533) 0064

理財課

☎ 024 (535) 0303

町の人口と世帯 2月1日現在

人口	1,864	-4	出生	0
男	897	-2	死亡	3
女	967	-2	転入	2
世帯	830	-3	転出	3

④住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

ご寄附 ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

目黒 哲哉 様(早戸)

長郷 春雄 様(間方)

青木 厚 様(西方)

齋藤 茂樹 様(宮下)

齋藤 公朗 様(宮下)

滝谷建設工業(株)が 町に寄附

滝谷建設工業(株)は、2月8日に開催された第42回雪と火のまつりの出店売上金と、まつりで使用するベニヤ合板40枚を町に寄附しました。目黒通浩代表取締役が役場を訪れ、二瓶町長に目録を手渡しました。



二瓶町長に目録を手渡す滝谷建設工業(株)の目黒通浩代表取締役

あと1年

三島町テレビ放送サービス（ケーブルテレビ）
ご加入世帯の皆さまへ

デジタルアナ変換サービスは

平成27年3月で終了します。

お茶の間のテレビは大丈夫ですか？

寝室などの2台目、3台目のテレビもお忘れなく！

三島町テレビ放送サービス（ケーブルテレビ）は、難視聴対策として光ファイバーケーブルを活用し平成23年10月から本格運用を開始しました。現在、約66%のご家庭でご利用いただいております。

デジタルアナ変換とは、デジタルテレビへの買い替えの負担軽減等を目的に、地デジ完全移行後も、デジタル波をアナログに変換し、アナログテレビでも地デジ放送が暫定的に見られるようにと、総務省が

平成27年3月までの期限付きで措置したサービスです。

そのため平成27年4月からは、アナログテレビはそのままでは視聴できなくなりまます。事前のご対応をお願いします。



デジタルテレビ

【対応策①】 デジタルテレビに買い替える。

【対応策②】 地デジチューナーを購入し接続する。

※地デジチューナーの無償貸与制度もあります。

編集後記

▼町民記者を委嘱して、もうすぐ二年になります。「町民と一緒に広報紙を作り、もつと身近に感じてもらいたい」という思いから始めました。あまり負担にならないよう、できる範囲での取材をお願いしていますが、なんとこれまでに123件の寄稿があり、すっかり定番のコーナーとなりました。おかげさまで大成功です▼町の広報担当は一人で他業務と兼務のため、取材が行き届かないことも多いのが実情です。町民記者によって、町内の話題を幅広く集め、地元に着した紙面となりました▼広報の役割は、町民と行政をつなぐこと。できることはまだまだたくさんあります。町民の皆さんのご意見、アドバイスもお待ちしています。

【お問い合わせ】 総務省 地デジコールセンター ☎0570 (07) 0101 (午前9時～午後6時)
または、役場 総務課 ☎(48) 5511